

Rep
ort

身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2023.4.28

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)(雨天は小雨でも中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

2023年6月までの石神井川観察は、5/11(木)、5/26(金)、6/8(木)、6/23(金)

9:30JR社宅前街路の観察 10:00帝京大学病院北側の御成橋たもとから再出発

4/13 = 2週間見ないうちに緑道は春爛漫だったのが
4/28 = さらに2週間見ないうちに春終わり

カラスノエンドは種鞘を真っ黒にして、オランダミミナグサは実を付けてバケバケに伸び放題。春の野草で埋め尽くされていた緑道はもう夏への準備中。これも自然なり。



増えすぎて厄介者扱いされているナガミヒナゲシですが、今年はあまり大繁殖していませんでした。いつの間にか実になっていました↓。



←そうかと思うと、昨年整備されたJR社宅南側の新歩道の植え込み

の下に、なんとキラソウが展開。これ、ジゴクノカマノフタとも呼ばれて、昔から薬用に使われてきた日本在来の立派な野草です。



たまには植え込みの樹木の花も観てみよう

←オオムラサキとツツジが交配された園芸種**サツキツツジ**の一種だと思います。この紅赤色、きれいです。

↓**タニウツギ**も満開になりました。



花の色によっていろいろな呼び名が付いているようですが・・・、ここではひとまとめにタニウツギ。

加賀第二公園の**ハクチョウゲ**は手入れが悪いのと栄養不足で、これまで花は数個しか付けていませんでした。こんなにたくさん咲いたのは初めて見ました↓



葉緑素がないので緑にならず、しかも、ほかの植物

に寄生して生きる変な植物**ヤセウツボ**→

**4/13号の分からない花
熱心なメンバーが
調べてくれました**

←**ヘメロカルス
シラー・カンパニ
ユラータ**→

ふつうの植物図鑑では出てこない園芸植物。

よく調べられました。たいしたものですよ

